

令和5年 上半期  
火災・救急統計

松山市消防局

# 目 次

第1	火災の概況	1
1	火災件数	1
2	火災による損害	1
3	死傷者数	1
4	出火原因別の火災発生状況	2
5	損害額	3
6	近年の火災状況	3
7	地区別の件数	4
8	地区別件数の推移	5
第2	救急の概況	6
1	救急出動件数・搬送人員の状況	6
2	医療機関別搬送状況	7
3	事故種別・傷病程度別搬送人員の状況	7
4	応急処置実施状況	8
5	地区別救急発生状況	9

火

災



## 第1 火災の概況

令和5年上半期（1月～6月）の火災概況は、火災件数63件、損害額1,329万5千円、死者4人、負傷者8人となっています。

### 1 火災件数

令和5年上半期（1月～6月）の火災件数は63件で、前年同期（76件）と比べて13件減少しています。

（▲は減少）

		令和5年	令和4年	前年同期比
火災件数		63	76	▲13
種別	建物火災 (住宅火災)	39 (23)	54 (31)	▲15 ▲(8)
	林野火災	3	1	2
	車両火災	4	2	2
	船舶火災	0	0	0
	航空機火災	0	0	0
	その他の火災	17	19	▲2

※その他の火災とは、田畑や河川敷の枯草、屋外に放置された物件等が燃えた火災をいいます。

### 2 火災による損害

令和5年上半期（1月～6月）の火災による損害の状況は次表のとおりです。

（▲は減少）

		令和5年	令和4年	前年同期比
焼損棟数	合計	49	82	▲33
	全焼	3	15	▲12
	半焼	0	1	▲1
	部分焼	1	20	▲19
	ぼや	45	46	▲1
り災世帯数		31	63	▲32
建物焼損床面積 (㎡)		176	1,582	▲1,406
建物焼損表面積 (㎡)		3	378	▲375
林野焼損面積 (a)		13	1	12
損害額 (千円)		13,295	92,282	▲78,987

### 3 死傷者数

令和5年上半期（1月～6月）の火災による死者は4人で、前年同期（5人）と比べて1人減少しています。また、火災による負傷者は8人で、前年同期（14人）と比べて6人減少しています。

（▲は減少）

		令和5年	令和4年	前年同期比
死者		4	5	▲1
負傷者		8	14	▲6

#### 4 出火原因別の火災発生状況

令和5年上半期(1月～6月)の火災63件を出火原因別にみますと、「たき火」が11件(17.5%)、「こんろ」が9件(14.3%)、「電気機器」が5件(7.9%)となっています。

(▲は減少)

	令和5年	令和4年	前年同期比
たき火	11	13	▲ 2
こんろ	9	6	3
電気機器	5	4	1
たばこ	3	13	▲ 10
放火	3	4	▲ 1
電灯・電話等の配線	3	3	0
配線器具	3	1	2
マッチ・ライター	2	1	1
焼却炉	2	0	2
ストーブ	1	4	▲ 3
電気装置	1	2	▲ 1
排気管	1	1	0
灯火	1	1	0
火入れ	1	1	0
内燃機関	1	0	1
風呂かまど	0	2	▲ 2
煙突・煙道	0	1	▲ 1
衝突の火花	0	1	▲ 1
放火の疑い	0	1	▲ 1
その他	11	8	3
不明・調査中	5	9	▲ 4
合計	63	76	▲ 13

## 5 損害額

令和5年上半期（1月～6月）の火災による損害額は1,329万5千円で、前年同期（9,228万2千円）と比べて7,898万7千円減少しています。

（▲は減少）

	令和5年 (千円)	令和4年 (千円)	前年同期比 (千円)
損害額	13,295	92,282	▲ 78,987
建物	10,990	91,164	▲ 80,174
林野	0	0	0
車両	1,726	770	956
船舶	0	0	0
航空機	0	0	0
その他	579	348	231
爆発	0	0	0

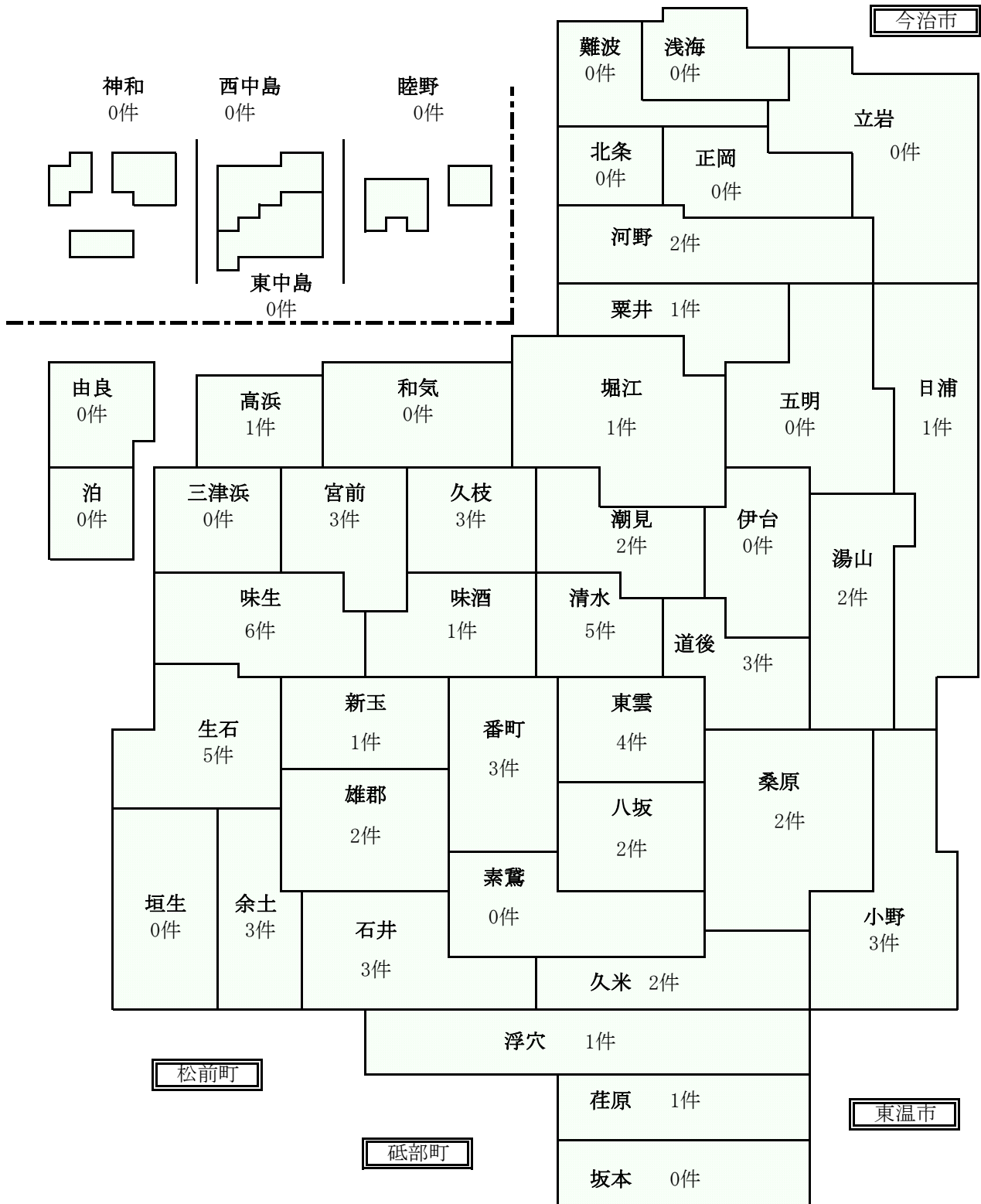
## 6 近年の火災状況

近年の上半期（1月～6月）の火災状況は次表のとおりです。

	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平均
火災件数 (件)	63	76	60	49	72	64.0
焼損棟数 (棟)	49	82	62	61	73	65.4
死者 (人)	4	5	2	6	5	4.4
負傷者 (人)	8	14	28	10	10	14.0
り災世帯数 (世帯)	31	63	47	45	51	47.4
り災人員 (人)	73	128	87	98	119	101.0
損害額 (千円)	13,295	92,282	117,739	102,808	64,162	78,057

## 7 地区別の件数

火災件数を地区別にみると、味生が6件で最も多く、次いで清水と生石が5件となっています。





## 8 地区別件数の推移

(各年上半期)

	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
番町	3	6	1	1	2
東雲	4	3	3	2	2
八坂	2	0	2	1	1
素鷲	0	1	3	3	3
雄郡	2	3	3	4	1
新玉	1	1	1	1	1
味酒	1	1	1	1	1
清水	5	7	0	3	5
桑原	2	1	0	2	4
道後	3	3	1	2	2
味生	6	1	2	2	4
生石	5	4	2	0	7
垣生	0	1	0	1	0
宮前	3	2	0	1	2
三津浜	0	0	0	1	0
高浜	1	1	3	0	2
久枝	3	1	2	1	4
潮見	2	2	6	2	2
和気	0	2	3	1	3
堀江	1	2	2	0	4
余土	3	2	3	2	2
由良	0	0	1	0	0
泊	0	0	1	0	0
久米	2	3	2	1	1
湯山	2	0	0	2	0
日浦	1	0	1	0	0
伊台	0	1	2	0	0
五明	0	1	0	2	0
小野	3	3	4	1	1
浮穴	1	1	1	2	1
石井	3	8	4	5	5
荏原	1	2	1	2	3
坂本	0	1	0	0	1
浅海	0	1	2	1	0
立岩	0	1	0	0	2
難波	0	1	1	1	2
正岡	0	1	0	0	2
北条	0	1	0	0	0
河野	2	3	0	0	0
粟井	1	2	2	1	1
睦野	0	0	0	0	0
東中島	0	0	0	0	1
西中島	0	1	0	0	0
神和	0	1	0	0	0
合計	63	76	60	49	72

※松山市基準地区（44地区）



救 急



## 第2 救急の概況

松山市の令和5年上半期（1～6月）の救急出動件数は14,072件、搬送人員は12,874人で、前年同期と比較し出動件数・搬送人員ともに増加しています。

これは、一日平均77.7件、約18分31秒に1回の割合で救急車が出動し、市民約39人に1人の割合で搬送されたこととなります。

### 1 救急出動件数・搬送人員の状況

事故種別では、急病・一般負傷・転院搬送・交通事故の順となっており、この4種別だけで、出動件数・搬送人員とも全体の約96～98%を占めています。

（▲は減少）

区分	単位	令和5年	構成比(%)	令和4年	構成比(%)	増減
出動件数	件	14,072	100.0	13,280	100.0	792
内訳	火災	40	0.3	55	0.4	▲15
	自然		0.0	0	0.0	0
	水難	7	0.0	13	0.1	▲6
	交通	1,070	7.6	982	7.4	88
	労災	73	0.5	69	0.5	4
	運動	90	0.6	64	0.5	26
	一般	1,980	14.1	1,879	14.1	101
	加害	60	0.4	41	0.3	19
	自損	128	0.9	126	0.9	2
	急病	8,741	62.1	8,232	62.0	509
	転院	1,754	12.5	1,655	12.5	99
	その他	129	0.9	164	1.2	▲35
搬送件数	件	12,809	-	12,158	-	651
搬送人員	人	12,874	100.0	12,220	100.0	654
内訳	火災	6	0.0	11	0.1	▲5
	自然		0.0	0	0.0	0
	水難	3	0.0	4	0.0	▲1
	交通	977	7.6	931	7.6	46
	労災	72	0.6	69	0.6	3
	運動	92	0.7	65	0.5	27
	一般	1,863	14.5	1,786	14.6	77
	加害	47	0.4	36	0.3	11
	自損	93	0.7	85	0.7	8
	急病	7,976	62.0	7,586	62.1	390
	転院	1,745	13.6	1,646	13.5	99
	その他	0	0.0	1	0.0	▲1
出動平均(1日)	件	77.7		73.4		
出動間隔		18分31秒		19分38秒		

（注1） 出動平均については、前年比1日あたり約4件増加しています。

（注2） 出動間隔については、前年比1分7秒短くなっています。

（注3） 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

## 2 医療機関別搬送状況

医療機関への搬送状況は、救急医療機関11,790人(91.6%)、その他の医療機関1,084人(8.4%)、その他の場所0人となっており、救急医療機関へ搬送する割合が多いです。

告示の別等 \ 事故種別等	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
救急医療機関	7,352	932	1,783	1,723	11,790
その他の医療機関	624	45	80	335	1,084
その他の場所	0	0	0	0	0
合計	7,976	977	1,863	2,058	12,874

(注) 救急医療機関とは、厚生省令により救急告示を受けている医療機関。

## 3 事故種別・傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別では、死亡173人(1.3%)、重症543人(4.2%)、中等症4,828人(37.5%)、軽症7,330人(57.0%)となっており、軽症の占める割合が多いです。

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	合計
死亡	0	0	2	5	0	0	10	0	14	140	2	173
重症	1	0	0	20	2	0	54	1	8	321	136	543
中等症	1	0	1	100	22	12	523	2	16	2,580	1,571	4,828
軽症	4	0	0	852	48	80	1,276	44	55	4,935	36	7,330
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	0	3	977	72	92	1,863	47	93	7,976	1,745	12,874

(傷病程度)

- 死亡 初診時において、死亡が確認されたもの
- 重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 軽症 傷病の程度が入院を必要としないもの
- その他 搬送したが医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

## 4 応急処置実施状況

救急救命士等が行った救命処置は、162件（前年204件）となっています。

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	応急処置対象人数	7,968	974	1,859	2,008	12,809
	止血	31	29	141	27	228
	被覆	36	242	482	74	834
	固定	31	127	142	39	339
	保温	175	11	26	43	255
	酸素吸入	1,414	17	69	554	2,054
	人工呼吸のみ実施	12	1	1	2	16
	胸骨圧迫のみ実施	2	1	1	0	4
●	うち自動心臓マッサージ器使用	0	0	0	0	0
	心肺蘇生（胸骨圧迫・人工呼吸）	223	4	18	23	268
●	うち自動心臓マッサージ器使用	34	1	3	3	41
	気道確保	321	8	28	33	390
●	うち経鼻エアウェイ	2	0	1	0	3
●	うち喉頭鏡・鉗子等	3	0	5	0	8
●◎	うちラリングアルマスク等	45	1	1	2	49
●◎	気管挿管	3	0	1	1	5
●	在宅療法継続	44	0	3	2	49
●	ショックパンツ	0	0	0	0	0
●◎	除細動	15	0	2	1	18
●◎	静脈路確保	33	1	1	1	36
	うち心肺停止前（ブドウ糖含む）	6	1	0	0	7
	うち心肺停止後	27	0	1	1	29
●◎	薬剤投与	16	0	2	0	18
	アドレナリン投与	11	0	2	0	13
	エピペン投与	0	0	0	0	0
	ブドウ糖投与	5	0	0	0	5
●◎	血糖測定	35	0	1	0	36
●	血圧測定	7,378	955	1,731	1,883	11,947
●	聴診器	810	28	76	72	986
●	血中酸素飽和度の測定	7,724	956	1,799	1,963	12,442
●	心電図	1,940	26	76	266	2,308
	その他	7,653	939	1,789	1,869	12,250
	合計	27,893	3,345	6,388	6,852	44,478
●	拡大された応急処置等	18,082	1,968	3,702	4,194	27,946
◎	特定行為等	147	2	8	5	162

（注）

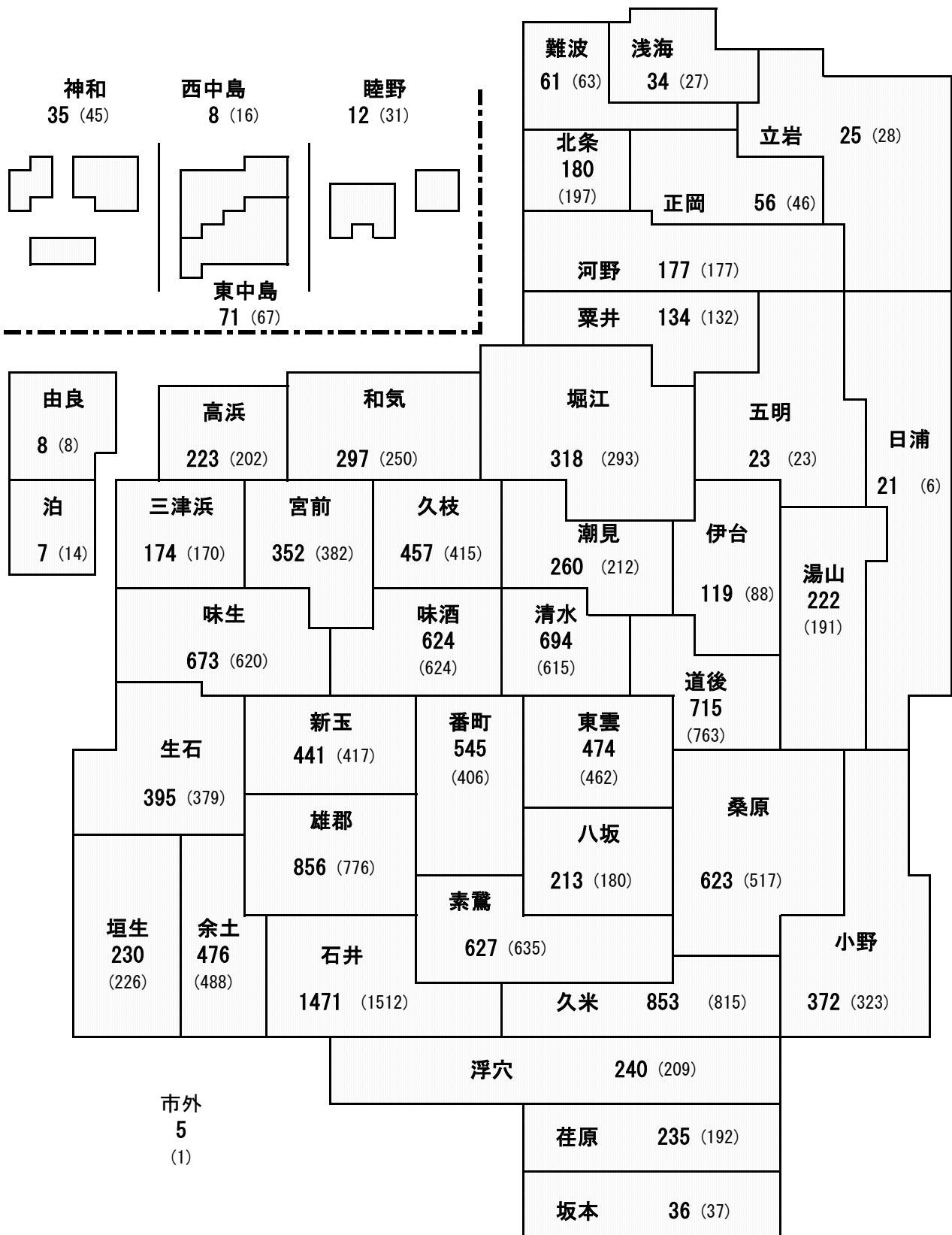
「●」とは、拡大された応急処置の項目

「◎」とは、救急救命士が行う特定行為の項目

## 5 地区別救急発生状況

出動件数 14,072件 (前年 13,280件)

( ) 内は前年同期の発生状況







## 令和5年 上半期 火災・救急統計

火災統計に関するお問合せは

松山市消防局予防課

TEL: (089)926-9247 FAX: (089)926-9163

E-mail: sbyobou@city.matsuyama.ehime.jp

救急統計に関するお問合せは

松山市消防局救急課

TEL: (089)926-9227 FAX: (089)926-9187

E-mail: sbkyukyu@city.matsuyama.ehime.jp